

特許第6746174号

発明の名称「開先加工機カバー」

特許登録日 2020年8月7日

発案者：岬工業株式会社 早田 好一・杉本 佳英

◇特許発案に至った経緯、課題

2本の配管を溶接で繋げる際、配管同士を突き合わせた双方の縁をV字に切り開く加工（開先加工）を行ってから溶接を行うことで、溶接部の強度を増すことができる。開先加工では、配管に「開先加工機」を取り付け、加工機の切削部分は回転しながら配管外周を切り開くが、回転する切削部分は露出しており、操作者は手を巻き込まれたり、切削で生じる切子で受傷する危険があった。

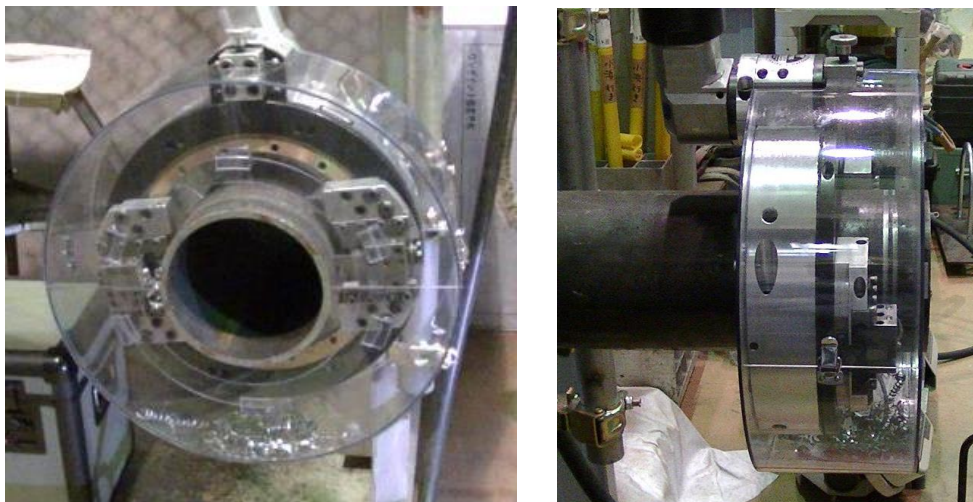
◇特許内容

今回、特許取得に至った発案は、開先加工機の周囲にカバーを取り付けることで、操作者の加工機使用時の巻き込まれや切子の飛散による切創を防ぐことができるもので、作業の安全性を大きく高められる製作品となった。

【カバー未装着時の開先加工作業】



【カバー装着時の開先加工作業】



◇特徴

- ①カバーの取付けにより、作業の安全性が大きく高められた。
- ②カバーが透明であるため、作業状況を確認することができる。
- ③カバー側面に切削油塗布用の穴を設けており、加工機を停止及びカバーの取り外しを行うことなく注油できる。
- ④様々な配管の太さ（径）でも使用できるようにアタッチメント（蓋）を作成したことで、対応可能とした。
- ⑤これまで飛散防止養生に費やしていた労力とコストを低減できた。